

## 長濱からメッセージ

代表取締役社長  
長濱 好教

## デジタルの力をビジネスの力へ Action For 3S

平素より皆さまには格別のご愛顧を賜り心より御礼申し上げます。

本誌がお手元に届くころには、明るく元気なあいさつの新入社員の皆さんや、新組織の仲間と新たな気持ちでお仕事に取り組まれていることとと思います。

おかげさまで昨年、弊社は創立50周年およびJBグループ参画10周年という節目の年となり、

多くの皆さまからお祝いや期待、激励のお言葉を頂きました。この場を借りまして御礼申し上げます。ありがとうございました。これまでの活動を振り返り共有することで、お客さま、地域への貢献に強くチャレンジしたいという意欲が会社全体で高まりました。



50周年祝賀会 北橋市長、新入社員とともに

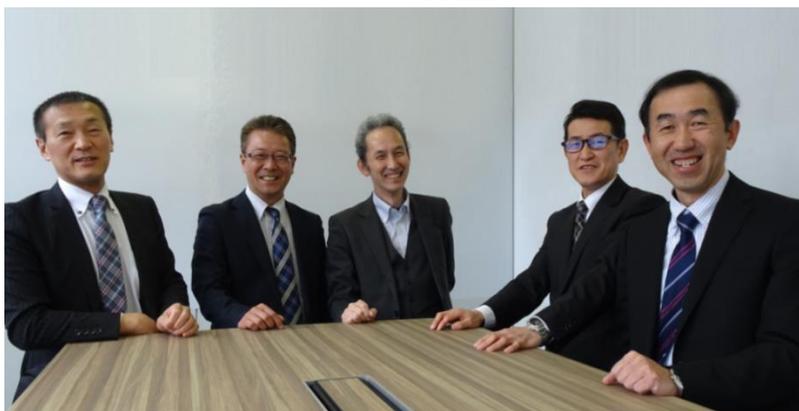
さて、昨年度スタートさせた新中期計画(2017年~2020年)では、“お客さまのデジタルトランスフォーメーション(以降、DX)に強く貢献する”を計画の柱とし、“デジタルの力をビジネスの力へ ~お客さまとともに2017~”を年度指針といたしました。DXをお客さまとともに実践する部隊として、企画力/推進力/コンサル力を持ったメンバーを中心にイノベーション事業部を新設し、あわせて若手や女性を広くリーダーに採用いたしました。経営目標であるCS(お客さま満足度)ES(社員満足度)、ビジネス目標については残念ながらすべてを達成することはできませんでしたが、ひとり一人がビジネスの新しい変化を体感し、DXでの成功を着実に積み重ねることで、中期計画推進の基盤を早期に築くことができました。

中計の2年目となる今年度は、セキュリティービジネス及び働き方改革により一層の磨きをかけ、全部門で“Action for 3S”を心がけて進んでまいります。Satisfaction(CS/ESの追及)、Success(W7<sup>(※1)</sup>/イノベーションビジネスの成功体験)、Speed(スピードを高めるためのプロセス改革と戦略投資)へのActionに全社員が繋がることで、DX実現への貢献が加速化され、お客さまや地域の皆さまとともに成長をさせて頂きながら、弊社の付加価値を高めてまいります。今年度も変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※1:「WILD7」 JBグループがフォーカスする7つの成長事業

## 私たちが推進してまいります！ ～ 2018年度組織 ～

2018年度、各事業を推進していくリーダーに「意気込み」を聞きました。



写真左から、  
斉藤、井上、近藤  
津田、瓜生

### イノベーション事業部 **近藤 俊次**

昨年度は、IoTやRPA、アナログメータ自動計測等、お客さまとの共同研究・現場実証を行えました。DX(※1)に向けた取組みの成功(*Success*)をお客さまと共に体験し、イノベーションに貢献します！

### 営業事業部 **斉藤 浩由紀**

今年度は、分散していた営業部門の一本化により、情報や知見を共有し、お客さま対応のスピード(*Speed*)アップを図ります。また、お客さまとの接点を増やし、社内ディスカッションを強化することで、“お客さまビジネスへの更なる貢献”を加速します。

### SI推進事業部 **瓜生 英俊**

ソルネット版SaaSやインダストリー4.0等の推進により、新たな満足をお届けできるよう、常に挑戦者として臨みます。さまざまな専門性をもった5部門が「チームSI」として結集し、幅広くお客さまと我々の満足度(*Satisfaction*)向上を目指し、前進します。

### ITS推進事業部 **津田 智之**

- I**mpression on : 期待を超えるサービスで、お客さまに満足感と感動をお届けします。
- T**rade off : 過去の成功体験を捨て、新たなイノベーションにより、お客さまと一緒に成功を目指します。
- S**peed up : 何事においてもスピード感を大事にする、できるビジネスマンが、お客さまをご支援します。

### スタッフオペレーション **井上 秀明**

2017年度は、“19時消灯”や“プレミアムフライデー”等の推進を行い、「働き方改革」への取組みから生産性の向上へチャレンジしました。  
2018年度は「働き方改革」及び「人材育成」へのアクションを更に加速化させ、ESを高めて、企業価値向上にチャレンジしていきます。

※1: デジタル・トランスフォーメーション

## 新しい自分に出会う春

2018年度 新入社員紹介

今年も3名の新入社員を迎えることができました。入社式を終えると、JBグループでの合同研修のため東京へと旅立ちます。次に北九州に戻ってくるのは7月。仲間たちとの時間を大切にしながら、様々な経験を積んできてほしいと思います。

### 高井 健多 (たかい けんた)

- A1. 世の中には様々な人がいること、いつでも人は変われることを学びました
- A2. モンスターハンターワールド、バガボンド、コブクロ、旅行、飲み会に夢中です！
- A3. 面白そうなことは何でもやります！それと友達の誘いを断ることはありません。楽しく生きることが生きがいです
- A4. 知識を蓄え、営業では面白い話ができるように、少しでも頼れる存在になりたい



### 稲永 真人 (いねなが まさと)

- A1. 大学に泊まり込み、プログラムを完成させたことや、腕が上がらなくなるまでボウリングをしたこと
- A2. プログラミングの参考書を読み返すこと(時には漫画も)。他に音楽ゲームの譜面をアレンジして、パソコンで遊ぶこと
- A3. 負けず嫌いで、1度やり始めたことは最後までやりたがる性格。音楽ゲームや漫画、運動が好き
- A4. しっかりと自分の考えを持って行動ができる人になり、困っている人のためになるような仕事をしたい

### 尾崎 千穂里 (おざき ちほり)

- A1. 塾講師のバイトで、一年目に拒否された生徒に、自分なりに改善策を考えた結果、指名されるようになったことです
- A2. 料理(とくに鶏肉料理)です。最近は家族の健康を考え減塩レシピに挑戦中！
- A3. 転んでもただでは起きません。しかし、起き上がるのに時間がかかるので、素早く起き上がれるように成長していきたいです
- A4. まずはITに関する知識と技術を身に付けることが目標です。そして、誰にも負けない特技を持った社会人になりたいです

#### ◆新入社員への質問

- Q1. 学生時代に学んだこと  
印象に残っていることは？
- Q2. 今、ハマっていること
- Q3. 私ってこんな人です！
- Q4. これからの目標

January

### 25日(木) ESCS活動発表会

各部門からエントリーした5チームが、活動成果を発表しました。この活動は、“お客さまの声”をベースに重点テーマを選定し、ES・CSの観点で活動品質向上を目指すものです。他部門の取組みや課題を共有することで、社員の意識改革、創意工夫へとつなげてまいります。



February

### 19日(月) 社員会イベント

ボウリング大会 in 八幡東 桃園シティボウル

社員・パートナーさま、今年度入社3名を合わせ、約90名で部門横断のチームを編成し、熱戦を繰り広げました。負けず嫌いが多くからか、良い成績(景品)を目指し、チームメンバーにアドバイスをしたり、ハイタッチをするなど、歓びの歓声とともに、活発な交流の様子が見られました。



[ESCS活動発表会] 発表者と審査員

## 展示会でお待ちしています！

2018年5月～6月、各展示会にてブースを出展します。

弊社のおススメするソリューションを実際に見て、触れて、最新のIT活用をご確認ください。

【出展予定】

### スマート現場ソリューション

スマートウォッチを使い、現場の様々な情報を集め、「安全」「コンプライアンス」「働き方改革」「生産性向上」に貢献するソリューション

安全も  
品質も  
効率も  
だいじ。



### お客様の声から生まれた現場仕様

大手製造業さまと一緒に開発したシステムや、お客様の実証を重ねて進化したシステムの機能とノウハウを集約した、生粋の「現場仕様」

### 多機能なスマートウォッチで用途無限大

現場にスマートウォッチを導入することにより、さまざまな情報をリアルタイムに共有し、作業品質や生産性の向上をはかる

### ユーザーニーズに合わせて選べる機能

コア機能、オプション機能の2構成により、現場のニーズに合わせて、必要な機能だけの使用が可能

### その他ソリューション

- LoRaWAN動態管理：LTE回線はもう不要！広い範囲でも位置情報を把握
- 作業体調管理：バイタル情報をリアルタイム共有することでひとり作業も安心  
その他、モバイル設備点検、画像解析など

## JB Group IT Forum 2018

公式サイト：<http://www.jbgroup.jp/itforum>  
申込み受付は、4月初旬を予定しています

ホテル阪急インターナショナル 5/22 火

ヒルトン名古屋 5/25 金

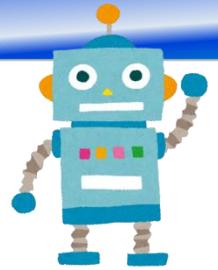
ザ・プリンス パークタワー東京 6/1 金

## 西日本製造技術 イノベーション 2018

西日本総合展示場 新館 6/13 水→15 金

## ビジネスショウ & エコフェア 2018

福岡国際センター 6/20 水→21 木



## RPAではじめる働き方改革！

### Step 1 難易度の低い定例作業を見つける

「定例業務を行いながら、働き方改革の検討も行うなんて、現実的に無理」とおっしゃるお客さまが多くいらっしゃいます。本格的な検討の時間を確保するため、まず普通の業務の中で、自動化できそうな難易度の低い定例作業を見つけましょう。

### Step 2 その中からRPAの得意な作業を見つける

RPAの得意な作業は以下の4つの処理です。

#### □ 入力・転記

- 例) ・ Excelの注文データを販売管理システムに転記して受注処理を行う
- ・ システム間のデータ連携を自動化する



入力・転記



チェック  
突合せ



資料作成  
加工



督促  
メールpush

#### □ チェック・突合せ

- 例) 交通費申請の金額が正しいかどうかを、インターネットで検索してチェック

#### □ 資料作成・加工

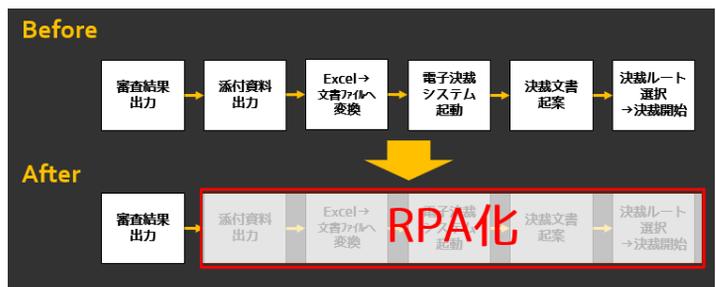
- 例) 勤怠データを読み込んで、部門ごとに過重労働チェックリストを作成

#### □ 督促・メールpush

- 例) 自動集計したExcelを添付し、各部門長にメール配信

### Step 3 RPAで作業を自動化し、働き方改革を実感する

対象の作業が決まったら、作業をRPAに覚えさせます。弊社にご依頼いただけましたら事前のコンサルティングから、実際のプログラミング、運用まで、ワンストップでご対応させていただきます。その他にも、お客さまのさまざまなニーズに対応できるメニューを準備しております。



もし「RPA・・・ちょっと興味あるな」と思われたら

お声掛けください。私たちはお客さまの立場で一緒に考えます！



## 50年間の想いと期待を胸に刻んで

先日、弊社OBとお話する機会がありました。懐かしい話で盛り上がるのは、なぜか会社が安泰のときではなく苦境のときのお話です。

関係先のステークホルダーの方にご相談したり、そこからさらに連携して社外の方にサポートしていただいたりというお話をお聞きしていると、弊社が昔からどれだけ皆さまに大事にさせていただいていたかということに改めて痛感しました。



1967年、スタートした弊社の主力事業は、ホストコンピュータにインプットするデータエントリー事業でした。社名は『八幡計算株式会社』。社員のほとんどが女性という、当時としては珍しい会社でした。コンピュータの普及に伴い、1980年代には『株式会社八幡コンピュータセンター』としてソフトウェア開発事業を開始し、機器販売も合わせてワンストップでSIをご提供できるようになりました。ちなみに、現在弊社がご提供しているサービス、『HealthPartner』は、1980年代当時ご好評いただいたパッケージソフトの名前にあやかり、昨年新たに商標登録したものです。

その後、インターネットの普及によるITの進化を踏まえ、新たな成長のために、社名を『株式会社ソルネット』（Solution&Networkの意）とし、さまざまな業種のお客さまの課題解決に貢献する会社を目指して、新たなサービスを充実させてまいりました。

時代の流れに合わせてこのように事業展開してきた弊社ですが、その時々にはたくさんの苦境があり、その都度お客さまや取引先さまなどから、想いや期待のこもったご支援をいただいたに違いありません。50年という歳月、これからもひとつひとつを大切に積み重ねながら、ご支援いただいている方々や地域のみなさまにご恩返しをしていきたいと思ひます。

(Y.Nishino)

### 編集後記

活動報告でご紹介したボウリング大会は、企画～実行～結果報告までを、若手中心に選出された“社員会”が実行します。今回準備してくれた軽食は、八幡西区にある“食パン日本一”となったお店のサンドイッチでした。社員の期待値が年々高くなっているの、プレッシャーもあると思いますが、「喜んでほしい」と細部にまで妥協をせず頑張っている姿に、よい刺激をもらっています。(K.K)

